

式辞

札幌保健医療大学保健医療学部看護学科

第六期生百十一名、栄養学科第二期生二十一名の皆さん、ご卒業誠におめでとうございます。

これまでの学業生活を支えてこられ、本日ご臨席いただいております保護者の皆様、臨地実習や学内実習で指導していただいた先輩看護師・保健師や管理栄養士の先生方、そして皆さんを陰日向絶えず叱咤激励してきました本学教職員など全ての方々に対して、大学生活を締めくくる本式典を、今日のコロナ禍中において挙行できたことに心より感謝を申し上げます。

思えば四年前、皆さんは、限りなき大きな期待を抱きながら本学看護学科、栄養学科に入学しました。日々の講義、演習、実験、学内実習、臨地実習、そして国家試験と幾多の高いハードルと困難を不断の努力と粘り強い忍耐力とで乗り越えてきました。本日、その四年間の集大成とでもいふべき卒業証書・学位記授与式に臨み、大学を卒業するという安堵感と共に何か完全に満た

されない達成感とが混在した感覚に浸っていることだと思います。

皆さんの大学生活最後の二年間は新型コロナウイルスによる、まさに未曾有のパンデミックに襲われ、それまでの最初の二年間とは様相が激変しました。対面授業から遠隔授業へ、臨地実習は学内実習やウェブ実習へと変更され、遠隔授業日は一日中、自宅のパソコン画面に一人で対峙せざるを得ないストレスの蓄積状態となりました。学内実習や実験などにおいても不織布マスクの上フェイスシールドの装着を余儀なくされ、楽しかったはずの友人と一緒にの昼食もパネル越しの黙食となり、すべてにおいて感染防止対策が優先された二年間であったと思います。このような皆さんの感染防止行動により、本学では幸いにも学内でのクラスター発生が回避され、感染者数も最小限に抑えることができました。改めて皆さんのご努力に感謝を申し上げます。

皆さんは、四月から看護師又は保健師、管理栄養士として医療施設や保健所、教育機関、給食センター等で医療専門職者としてのキャリアを

スタートさせます。これから四十年以上にも及ぶ実務経験のなかでは、今回のような感染症アウトブレイクに再び遭遇するであろうと思います。その際には学生の立場ではなく、看護・保健ケアまたは食ケアのプロフェッショナルズとしてそれらの最前線に直面することになります。その意味では、学生時代にパンデミックを一度経験し、感染防止対策の基本を真摯に実践したことは大きな力となっているはずです。

とはいえ、恐らく皆さんの多くは、パンデミックを経験したメリットよりも、この二年間における臨地実習の経験不足の方に非常に大きな不安を抱いていることと思います。果たして今の実力で仕事をやっていけるだろうか。しかし、皆さんを受け入れる医療施設などは皆さんの状況を十二分に承知しており、従来とは異なる充実した新人研修プログラムを必ず準備しているはず。最も重要なことは、それらにどのような姿勢や態度で真剣に取り組むかということです。

「好機のがすべからず」という言葉があります。「せっかく訪れたよい機会は取りにがしてはいけな

い」という意味ですが、皆さんは、数か月に及ぶ国家試験勉強に寝食を忘れて没頭し、四年間の学業成果を短期間で集中して確認したはずです。新人研修プログラムという好機を最大限活用できる素地が出来上がっているのです。この素地の上にもどのような自分の将来図を描き始めるのか、それはまさに皆さんの心がけ次第と言えます。

初期研修をはじめ、最初の数年をどのような態度や意識で臨み、真摯に取り組むかが、皆さんが将来どの様な医療専門職者に成長するのかわを大きく左右するのです。

もう一つ皆さんにお伝えしたいメッセージがあります。それは、「常にポジティブ思考」ということです。人生百年、山あり谷ありの連続です。過去のことについてまでも拘泥しては前進できません。うまくいくこともあれば失敗もあるのが人間です。過ぎ去ったことは決して元に戻すことはできません。失敗を振り返り、それを糧に何倍も大きくなれば、失敗は失敗ではなく成功の元になります。つらくて困難な仕事に直面しても、それを自分に与えられた天からの試練と捉え、そ

れをやり遂げた時の達成感や成功体験を先取りすればよいのです。楽しいことが待っていると思えば、仕事のつらさも半減します。ネガティブ思考によるストレス増大は免疫力を低下させ、感染抵抗力を弱めます。ポジティブ思考を維持するためには、自分だけのストレス解消法やリラクソ術を持つことが非常に有効です。

最後に、皆さんと札幌保健医療大学とは卒業と同時に縁が切れることは決してありません。本学の同窓生として皆さんの活躍を常に見守っており、皆さんが本学を必要とするときはいつでも連絡をして下さい。

本学の教育理念である人間力教育の下で四年間学んだ皆さんが、吉田学園札幌保健医療大学出身であることに誇りと自信を持って医療専門職者としてのそれぞれの道を歩まれることを心から祈念して学長式辞としたいと思います。

本日のご卒業に改めてお祝いを申し上げます。

二〇二二年三月十四日

札幌保健医療大学 学長 小林清一